

'99全日本ダートトライアル選手権第1戦 AII クラス

CMSC 群馬 太田清隆選手 開幕戦を見事逆転優勝!



開幕戦を逆転優勝で飾り、好スタートを切った太田選手のミラージュ(上)。表彰台では、少し緊張気味の表情です(右)。

'99全日本ダートトライアル選手権の開幕戦「RASCAL SPRING TRIAL in 三井」が、4月11日(日)福島県大牟田市「三井・三池オートスポーツランド」で開催されました。当日の天候は、曇りのち晴れでしたが、前日の降雨で第1ヒートの路面状態はややウェット。表面のぬかるんだ土が払い飛ばされる第2ヒートが勝負、とあって各選手第2ヒートには、気合いが入ります。

AIIクラスでは、昨年度同クラスシリーズ2位のCMSC群馬・太田清隆選手がミラージュでシビックのワンメーク状態のクラスに殴り込みを今季かけています。第1ヒートは7番手という結果でしたが、勝負の第2ヒートでは見事トップタイムを記録。逆転優勝で幸先の良いスタートとなりました。ミラージュも、このクラスでは'97年のJAFカップオールスター戦以来の久々の勝利となりました。



'99全日本ダートトライアル選手権 第2戦 AIVクラス CMSC 札幌 宝田芳浩選手

エボVI全クラス中トップタイムで大会2連覇飾る!

'99全日本ダートトライアル選手権第2戦「トライアル・ド・ニッポン99」が5月9日(日)福島県二本松市「SSパークサーキット」で開催されました。天候は晴れでしたが、走行を重ねるにつれ深いギャップができたコース奥の緩やかな上りから左へヘアピン状態にターンするコーナーで、転倒やタイムロスする車両が多発。このため第2ヒートでのタイム更新が難しい状況でした。

その中、28台が出走したAIVクラスでは開幕戦のデビューからエボVIに注目が集まりました。第1ヒートトップタイムを出したのはCMSC群馬・荒井信介選手。しかし、第2ヒートではタイム更新ならず、第1ヒート2番手につけていたCMSC札幌・宝田芳浩選手が第1ヒートから1秒強もタイムを更新。見事、自身初のエボVIでの優勝を果たし、昨年に続いてこの大会2連覇を達成しました。宝田選手の1分49秒480というタイムは、この日の全9クラスを通じてのトップタイムでした。



注目のエボVIで優勝を果たした宝田選手の快走と、表彰台での表情。



'99全日本ダートトライアル選手権 第1・2・3戦 CMSC上位入賞者

第1戦では、AIIクラスでのCMSC群馬・太田清隆選手の優勝に続き、AIIIではCMSC大阪の藤原雄一郎選手が第2ヒートで逆転優勝。AIVクラスでは2位にCMSC札幌・宝田選手、4位にCMSC広島・夏明選手、5位にCMSC大阪・吉村選手、6位にベテランのCMSC岐阜・榊田選手が入賞。ベスト10以内には6人が入りました。

第2戦、AIVクラスではCMSC札幌・宝田選手が優勝。3位にCMSC岐阜・三枝選手、4位にCMSC群馬・荒井選手が入賞しました。また、CIIIクラスではCMSC山形・八島選手が2位と健闘、DクラスでもCMSC広島・河内選手が3位に入っています。

第3戦のAIIIクラスでは第1ヒートでトップに立ったCMSC大阪・藤原雄一郎選手が優勝。今季2勝目を挙げるとともに同大会2連覇を達成しました。AIVクラスでは、CMSC札幌・宝田選手が2位、CMSC群馬・荒井選手が3位、CMSC山形・湯本選手が6位入賞



AIIIクラス
CMSC大阪
藤原雄一郎選手
第1戦優勝
第3戦優勝

となり、DクラスではCMSC広島・河内選手が第2戦に続き3位、Lクラスでは、今年からCMSC座間に移った小出選手が2位と健闘しました。



AIIIクラス
CMSC浜松
相原保雄選手
第2戦3位



AIVクラス
CMSC札幌
宝田芳浩選手
第1戦2位・第2戦優勝
第3戦2位



AIVクラス
CMSC群馬
荒井信介選手
第2戦4位
第3戦3位



AIVクラス
CMSC岐阜
三枝光博選手
第2戦3位



AIVクラス
CMSC広島
夏明成己選手
第1戦4位



AIVクラス
CMSC大阪
吉村修選手
第1戦5位



AIVクラス
CMSC岐阜
榊田正文選手
第1戦6位

今年51才を迎えた榊田選手。全国の強豪選手達を相手に健闘を見せてます。これからも上位を目指しがんばってください。
編集部より



AIVクラス
CMSC山形
湯本敬選手
第3戦6位



CIIIクラス
CMSC山形
八島功敏選手
第2戦2位



Dクラス
CMSC広島
河内渉選手
第2戦3位
第3戦3位

- 第1戦：「RASCAL SPRING TRIAL in 三井」4月11日(日)
福岡県大牟田市「三井・三池オートスポーツランド」天候／曇りのち晴れ
第2戦：「トライアル・ド・ニッポン'99」5月9日(日)
福島県二本松市「SSパークサーキット」天候／晴れ
第3戦：「'99信州ダートトライアル」5月23日(日)
長野県「スポーツランド信州」天候／晴れ

全日本ジムカーナ選手権 第3戦



CIIクラス
CMSC青森
宇野慶一選手
第3戦3位



Lクラス
CMSC座間
小出久美子選手
第3戦2位

第3戦：「'99SUGOオールジャパンジムカーナ」5月16日(日)宮城県「スポーツランドSUGO・国際カートコース」天候／雨

コートの連続コーナー
CMSC島根
古藤 浩美





第1戦の「第30回DCCSウインターラリー」を皮切りに、7月1日現在、第6戦の「モンレー'99」までが消化され、CMSC勢はCMSC道北・鎌田豊選手をはじめ上位に食い込む健闘を見せています。鎌田選手は第2戦を除けば出るレースは全て勝つという無敵ぶりを今年も見せてくれています。

Bクラス
CMSC道北
鎌田豊選手
第4戦優勝
第5戦優勝
第6戦優勝

上の写真右はナビの川村選手。

第4戦:「'99ACK SPRING RALLY」4月24日(土)～25日(日)
スタート・ゴール/大分県日田郡「オートポリス」天候/スタート前まで雨
第5戦:「ひえつき'99」5月15日(土)～16日(日)
スタート・ゴール/宮崎県東臼杵郡「椎葉村運動公園」天候/晴れ
第6戦:「モンレー'99」6月5日(土)～6日(日)
スタート/群馬県勢多郡 赤城高原牧場「クローネンベルグ ドイツ村」
ゴール/群馬県利根郡 猿ヶ京温泉「ホテル・コブシャトウ」天候/晴れ



Bクラス
CMSC道北
鷹野健太郎選手
第4戦3位・第5戦2位・第6戦3位



Cクラス
CMSC埼玉
田口幸宏選手
第1戦4位・第5戦3位・第6戦4位

Cクラス
CMSC浜松
菅野正之選手
第6戦6位

スーパー耐久シリーズ'99 第1・2・3戦

スーパー耐久シリーズ第1～3戦を振り返って

CMSC山形 小川日出生

スーパー耐久シリーズ第1、2、3戦ともクラス3位と連続で表彰台に上がったのは、大変素晴らしい結果であると思ひ、また嬉しくも思っています。協力してくれたクラブ員にも感謝したいと思ひます。しかし、タイヤの差とか、燃費の差とかで惜しい負け方をしたことにショックを受けたことも事実です。

昨年までは各戦ごとに優勝チームが入れ替わるなどして、どのチームにも優勝の可能性があり、大変面白かったのですが、今年の上位2チームは強いというのが印象です。しかし、この2チームを破って表彰台のもっと高い所を狙っていくのが我々の目標です。TI、十勝、もてぎ、富士、菅生とまだ5戦残っています。全国のCMSCのクラブ員の皆様、近くのサーキットへ行った際には、応援よろしくお願ひします。

第1戦:「CP MINE 500km RACE」4月3日(土)～4(日)山口県「CP MINE サーキット」天候/晴れ
第2戦:「ハイランド・スーパー耐久レース」4月25日(日)宮城県「仙台ハイランドレースウェイ」天候/雨
第3戦:「スーパー耐久・鈴鹿200マイル」5月15日(土)～16(日)長野県「スポーツランド信州」天候/晴れ



第1戦～3戦連続3位入賞。残り5戦でさらに上位を目指す小川チーム。

CMSC鹿児島 山口修

アジアパシフィックラリー選手権ラリータイランド参戦記

完走目標が総合4位クラス2位の結果に!



完走目標が好結果を生んだ山口選手のスタート風景。



3月に開催されたアジアパシフィックラリー選手権・ラリータイランドに参戦しました。過去参戦した海外ラリーは、一度も完走していないため「絶対完走」を意識し臨んだラリーでした。日程は3月10日～12日の3日間がレッキ、ラリー本番は13日～15日の3日間総距離965km(内SS29ヶ所282km)で行われました。

コースは国内で使われるようなタイトコーナーの多い中低速コースからハイスピードコーナーの多い高速コースまでバラエティに富んだコースでしたが、タイ特有のパウダー状のほこりが多く、数ヶ所でコースオフするなどの苦戦を強いられました。また、私の今回のコドライバーは熊本の木村光洋選手で、海外ラリーは初挑戦でしたが、ラリー序盤から息も合い初めてコンビを組んだにもかかわらず、完走を果たした上に総合4位クラス2位という成績を残すことができました。これも「一緒に行こう。」と声をかけてくれた久留米の小宮氏、富安氏をはじめ、サポートしてくれたメカニックや協賛各社のおかげと感謝しております。

また、国内ラリーと比べ走れる距離も長く、難しいラリー区間もないため、とても楽しく走れました。今後も積極的に海外ラリーに参加していきたいと思ひます。

CMSC栃木
1999スリーダイヤモンドジムカーナ
5月16日

初心者入門用イベントを今後も継続。

当日は朝から雨。参加台数は74台でチーム員、競技参加者とも受付や競技準備に時間がかかり、予定より30分おくれでの競技スタートとなりました。

コース的には初心者向けではありますが、ハイスピードコースを設定したため、雨でのウエットな路面に大半の競技者が四苦八苦している様子で、予想していたタイムよりも約10秒程遅れる記録しか出ないまま、午前の部は終了しました。

午後は雨も上がり、路面もドライになったため競技者たちは午後の部に勝負をかけました。ベストタイムは、1分こそ切れなかったものの、ほとんどの競技者が午前の記録とは比べものにならない素晴らしいタイムを記録することができました。また、コースクリアではアトラクションも兼ねて、我がチームの全日本ダートトライアルドライバーの赤羽政幸選手がエボVIを使用して豪快なドライビングを披露。彼のマシンコントロール技術に競技参加者、観衆ともに大きな興味を示していました。

大きなトラブルもなく無事競技終了。表彰式では競技参加者全員にスポンサー各社様からいただいた賞品が行き渡るようにと、ジャンケン大会も行いました。チーム員と競技参加者が協力しあい、非常に盛り上がった競技会になったと思っています。今後もモータースポーツへの参加数・動員数が増えていくように、チーム一丸となって、企画・努力し、初心者入門用のこのイベントを続けていく所存です。

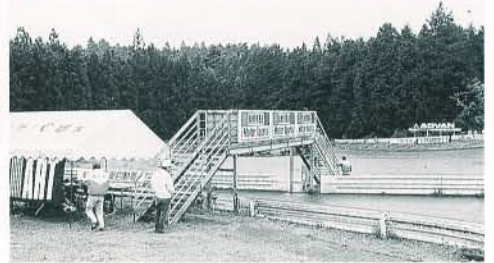
(CMSC栃木 川口法行)



▼ 午後の熱戦に見入る観客のみなさん。

▼ コース風景。

▲ 下谷選手の走り。



CMSC群馬
CMSC群馬ダートトライアルin那須
4月25日

またも雨、ジnkスは今年も生きていた。



荒井会長によるコースクリア。

CMSC群馬主催のダートトライアルは、'99JMRC群馬ダートトライアルシリーズの開幕戦として、4月25日に丸和オートランド那須で開催いたしました。

今回は、豪華海外旅行プレゼントや、ダブルエントリーの女性ドライバーにはエントリー費無料、前日の練習会設定等、いろいろと工夫をこらしてみました。が、エントリー台数71台と昨年を下回ってしまいました。思いあたる理由はただ一つ。「CMSC群馬のイベントは雨」というジnkスのせいではないでしょうか。そして、今年もジnkス通り「雨」。しかも前日の練習会から土砂降り、コースは湖状態。これには、オフィシャル、エントラントともにあきらめ顔といった所でした。

競技は、悪天候にもかかわらずスムーズに進行し、オーバーオールタイムも2分台というたっぶりのロングコースは、十分楽しんでいただけたと思います。表彰式には、大雨にもかかわらずビッグプレゼントの海外旅行の当選を願って、たくさんのエントラントの皆さんに参加していただきました。来年こそは、ジnkスを打ち破りたいと思いますが、こればかりは自然が相手なので・・・。

(CMSC群馬 笠原章史)

CMSC大阪
ホワイト&CMSC大阪スーパーダートトライアル
3月14日

前日の豪雨も上がって、ドライで開催。

1999年3月14日新日鉄オフロードウェイにてJAF近畿ダートトライアル第1戦ホワイト&CMSC大阪スーパーダートトライアルが開催されました。開催前日の土曜日には激しい雨に見舞われとてもヤキモキしてしまいましたが、当日の路面状態は、なんとかドライを保つことができました。競技のほうは、各クラス熱戦を繰り広げ、総合優勝はブツぎりの速さをみせてくれた、CMSC大阪の吉村修選手でした。

出走120台中、5台のリタイヤがありました、ケガ人もなく無事競技は終了しました。来年もまた、CMSC大阪一同がんばって競技会を行いたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(CMSC大阪 岩下利勝)



左からランサー賞、2位岡選手、1位吉村選手、3位長島選手。



左からミラージュ賞、2位村上選手、1位山尾選手、3位中村選手。

CMSC香川
'99CMSCアストロトライアル第1戦
3月14日

波乱の幕開け、最終戦が楽しみに。



四国地区ダートトライアル選手権第1戦「'99CMSCアストロトライアル第1戦」を3月14日に主催しました。エントリー数は、ラリーならフルグリッドの60台。コースは、四国では少し長めの約2分のコースを設定しました。結果のほうは、AI、AII、AIII、AIVと全て去年のチャンピオンが敗れる波乱の幕開けとなりました。今年はチャンピオンが変わる可能性があり、当クラブ主催の最終戦でチャンピオンが決定すればもっと面白い、と今から楽しみです。

(CMSC香川 白井 修)

CMSC島根
CMSCチャレンジカップジムカーナ'99
5月16日

「不景気なんかブツ飛ばせ！」

前代未聞の不景気時代、今年はどれだけのエントリーが集まるのか心配だった「CMSCチャレンジカップジムカーナ'99」は、5月16日岡山県備北サーキットでの開催でした。公認クラスが過去最低の37台は、「残念な」予想通りでしたが、クローズドクラスは29台集まり、「ジムカーナ予備軍は結構いるものだなあ」とオフィシャル一同感心した次第です。このクラスは、参加車両も競技車両から、ドリドリマシーン、ナントカミニまで幅広く、ジムカーナがサンデースポーツとして定着してきているものだと、少し嬉しくなっていました。

競技のほうは、毎年のごとく「安全な」ハイスピードコースで、トラブル車は皆無。天気も朝までの雨も一転「五月晴れ」へと変わり、エントリーもギャラリーも一日楽しむことができました。

また「シードクラス」として7名の全日本選手の模範走行もあり、大会を盛り上げてくれました。ただ、あまりにスムーズに進行しすぎて「物足りない」と思うのはゼイタクっていいものでしょうか?ぜひ来年は不景気感をブツ飛ばすような「お祭り」競技会にしたいと思います。島根の競技会は、進化するエポリューション競技会でありたいと思っています。

(CMSC島根 古藤浩美)



CMSC南茨城

5月4日
CMSC南茨城発会式

CMSCスピリットを心に刻んだ発会式

CMSC南茨城は5月4日、土浦市のレストランにて発会式を行いました。暇な独身者が多い南茨城ゆえか、直前のスケジュール連絡、広範囲にわたる居住地にもかかわらず若手を中心に集まってくれました。(おっちょこちょいで一日間違っていたメンバーもいましたが...) 当日は、本部より外川会長、須賀ラリーアート社グループ長にもご来臨賜わり、さすがのメンバーもやや緊張気味。まず外川会長のご講話で始まり、須賀グループ長のご挨拶とクラブに対する支援システムの説明ののち、CMSC南茨城・額賀会長より「小さなクラブですが、モータースポーツを共通の趣味として集まったこのメンバーで団結して頑張っていきましょう。」との決意表明で乾杯となりました。

さあ、ここからが本番、とばかりに全員が素に戻って賑やかになる一方、食事をしながら各自が自己紹介や競技履歴等を改めて披露。「血中三菱濃度」の高いメンバーゆえにそれぞれの話しに熱心に聞き入っていました。合間に、事務局から須賀グループ長に「改めてラリーアート社の概要をメンバーにお話してください。」と要望したところ、一通りの説明だけでなく、三田村社長のユニークなエピソード(マル秘)までご披露いただき場を盛り上げていただけました。

こういう充実した時間は、何と早く過ぎて行ってしまうのでしょうか。いろいろなお話しを聞いてメンバー一人一人が強く「CMSC」のスピリットを心に刻んで帰路についたのです。外川会長はJGTCより帰着直後、須賀グループ長は休日返上でご出



発会式、外川CMSC会長と額賀CMSC南茨城会長。(前列右から2人目)

席いただきました。本欄においても改めてお礼申し上げます。(CMSC南茨城 中田由彦)

CMSC南茨城 事務局住所変更のお知らせ

6月より事務局長が転勤となりましたので下記の通り連絡先をお知らせいたします。

〒300-0061

茨城県土浦市並木5-5478-1南茨城三菱自動車販売(株)総務部内 CMSC南茨城 中田由彦
Tel.0298-24-9100 Fax.0298-24-2341

CMSC広島
CMSC広島ダートトライアル'99
4月25日

98台が雨あがりの泥々コースで熱戦!

1999年JMRCC中国 広島・山口ダートトライアルシリーズ第2戦「CMSC広島ダートトライアル'99」を4月25日に開催しました。前日より降りだした雨も朝には落ち着いたものの、肌寒い一日となりました。当シリーズも2戦目ということで98台の参加車が集まりました。雨あがりのコースのなかコースを作った人が素晴らしいのか、転倒は僅か1台のみとトラブルも殆どなく、我ながら良くできた運営だったと思います。

競技は、昨年シリーズの初めに転倒し1年間ゆっくりと休養をとった加藤勝利選手

のランサーエボIIが、2位以下を1秒離しての復活優勝したのを筆頭に、1位から14位まで全て三菱車という何とも素晴らしい結果となりました。

来年もイベントを開催いたします。順番では来年は天気の良い年になるはずなので、各支部の皆様お誘い合わせの上、是非遊びに来てください。

(CMSC広島 平原和幸)

五月晴れにめぐまれた、5月23日CMSC青森専用の岩木山スキー場駐車場特設コースで、'99CMSC青森ジムカーナ第1戦を開催しました。

今年もクラブ主催で3戦を予定しての第1戦目で、JMRC東北北3県シリーズ第2戦のタイトルがかかるイベントなのかもしれませんが、参加台数が昨年に引き続き97台と地方のイベントとしては、最多ではないかと思えます。中には、北3県シリーズに関係なく宮城県からの常連の参加もあり、主催する者としては、嬉しいかぎりです。前日からの練習走行も好評で、気軽に参加できるイベントにしていきたいと思っています。

さて、近年の参加台数の増加に伴い、今年から当クラブでも成績発表に遅ればせながら、パソコンを導入し好評でした。プログラム作成と入力にはクラブ員の伴英憲君で、自ら走りながらのデータ入力で、なんと、クローズドクラスの第1位を獲得してしま

ました。(※注 計時はクラブで一番正確な計時委員長の柴田欣明氏なので成績に不正はありません。)

続けての第2戦は6月27日、第3戦は8月15日です。CMSC青森のジムカーナはみんなで楽しむイベントですので、全国のCMSCの皆様是非一度おいでください。宴会付きで大歓迎いたします。



一人二役で各選手の成績を入力する伴英憲選手。

(CMSC青森 小館 久)

地区戦レポート

'99JMRC東北・関東ラリーシリーズ第1戦 / '99レカロカップシリーズ第1戦 パープルラリーコンチェルト'99

Cクラス優勝

CMSC千葉 丹羽浩道

「'99JMRC東北・関東ラリーシリーズ第1戦 / '99レカロカップシリーズ第1戦」のパープルラリーコンチェルト'99に参戦しました。今年は4駆・2駆の併走の件でJAF地方選手権からは外れていますが、その甲斐あって57台のエントリーとなっていました。やっぱりラリーは大勢揃わないと...

ラリーの設定はCPはすべて分計時の1分1減点で、SSも規定一杯の30kmが用意され、1STダートSS・2ST舗装SSと分けられた設定でした。またレカロカップという事もあって事前にベースノートとビデオが送付されていました。例年の通りミス大子町3人娘に見送られてスタート。1CPを通過すると怒涛の如くSS1・2・3とこなし、少し移動の後SS4、プールの後SS5を走ってサービスとなっていました。ゼッケンがやや早かったため1STの間はわからなかった成績をチェックするとなんと10秒差のトップ。地元の某選手がバーストで遅れたらしいのです。舗装はあまり得意でないので気を引き締めて2STをスタートしました。やはりというかSS6・7と差を詰められてしまい、最終SSを前に2番手になると3秒差となってしまいました。

そして最終SS、急な下りのコースだったのでなるべく減速し過ぎないように走りました。ゴール会場に到着して、3秒差だった選手に尋ねると最終SSは同秒との事。伏兵がないことを祈りつつ暫定を待ちました。結果は優勝、Evo.IIIに乗っていたとき以来の優勝で幸先の良いスタートとなりました。

4月のJAFのSS規定の解釈の変更で主催クラブは大変苦勞された様子でした、誌面をお借りしてオフィシャルの皆様にお礼を申し上げます。



'99CMSC全国大会

全国大会が下記の通り開催されます。
ふるってご参加下さい。(詳しくは各事務局へ。)

参加申込締切り: 7月23日(金)

日時: 8月21日(土) 9:00~22日(日) 9:00

場所: 東北サファリパーク・エビスサーキット
(福島県二本松市)

内容: 支部対抗ジムカーナ、幹部会議、懇親会等

CMSC愛知からのお知らせ

7月11日開催のダートトライアルの開催場所が変更になりました。

変更場所

三重県 山室山

変更名称

CMSC愛知

ダートトライアルIN山室山に変更されました。

'99チャレンジカップ

新生・座間いきなりトップ。激戦模様の幕開け!

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
座間	763				763
福島	629				629
大阪	551				551
帯広	544.5				544.5
広島	526				526
道北	471				471
浜松	319				319
栃木	251				251
札幌	246				246
山形	219				219
青森	192				192
香川	187				187
群馬	135				135
岩手	129				129
鳥根	101				101
仙台	27				27
愛知	22				22
南茨城	15				15
岐阜	11				11
秋田	1				1
鹿児島	0				0
埼玉	0				0
千葉	0				0

初登場トップの座間。秋間・小出コンビが効いています。昨年の覇者福島はビッパリと2番手につけ、その後には

3チームが500点台で続いています。クラス別はダートラが激戦模様。今年はどうな戦いになるのでしょうか?

●ラリー・ドライバー部門

選手	所属	ポイント
鎌田 豊	道北	121
鷹野健太郎	道北	75
岩見浩紀	道北	63
後藤英隆	福島	46
森 新次	香川	40
杉山 聡	道北	28
樋口 宏	大阪	26
中島 律	広島	13
松井孝夫	愛知	10

●ラリー・ナビゲーター部門

選手	所属	ポイント
川村知恵	道北	164
中村洋次	帯広	41
内藤修一	道北	20
野村左江子	広島	13
宮沢早苗	大阪	7

●ダートトライアル部門

選手	所属	ポイント
藤原雄一郎	大阪	307
秋間忠之	座間	300
宝田芳浩	札幌	246
河内 渉	広島	232
小出久美子	座間	217
吉村 修	大阪	165
石井宏和	座間	143
赤羽政幸	栃木	118
荒井信介	群馬	118
伊藤祥充	浜松	118

●ジムカーナ部門

選手	所属	ポイント
青沼達也	帯広	105
三崎朋弘	帯広	91
平山敦朗	浜松	90
長内 豊	帯広	69
渡辺 弘	福島	58
鳥谷英晶	青森	55
高野 聡	福島	47
佐藤義隆	福島	46
宇野慶一	青森	44
久保田明	青森	40
村上直子	帯広	40

●レース部門

選手	所属	ポイント
内堀篤史	栃木	40
寺澤 誠	栃木	40
添田 正	栃木	12
川口法行	栃木	12
大福地武良	栃木	6

●ポイントのつけ方

ポイント	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A: <ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ>全日本選手権(含むレディースクラス)、地方選手権(除くレディースクラス)、A.B.C.D.E.F.G最上級シリーズ、オールスターダートラ(含むレディースクラス)、JAF Cupジムカーナ(含むレディースクラス)、A~H地区オールスターダートトライアル(含むレディースクラス)
<レース>全レース、<海外競技>FIA.ASN.公認全て
B: 上記以外